

一般質問での議員からの提言及び市当局の答弁



	政策的提言	提言要旨	当局の考え
1	児童生徒の携帯電話並びにスマートフォンの利用について	他市では携帯電話使用ルールを制定し対策を講じているが、本市においても使用ルールづくりが必要であると考え。	PTA・学校と連携し、ルールづくりの協力を呼びかけ、地域の実情に合った石垣市独自の使用ルールづくりの実現に向けて取り組んでいきたい。
2	高齢化社会に伴う待機老人について	本市では10年後に高齢化率がピークを向かえ待機老人の増加が予想されるため、改善策を講じるべきと考え。	今後3年間で多様な介護基盤整備を予定しているが、介護保険に至らないよう元気な高齢者づくりに向け、地域支援事業に重点をおいて取り組んでいきたい。
3	平久保地区の多良間田の進捗状況について	生産遺跡である多良間田を保存と同時に、有効に活用することで北部振興を図るべきと考え。	文化財に対する意識が保存から活用が変わってきている中で、観光・教育面で活用できると考えている。平久保半島エコロード構想と併せ、北部振興についても検討したい。
4	集積された古紙類がストックヤード外部で雨にぬれ、リサイクルされずに破棄されるケースについて	回収して再資源化することが分別の目的。古紙の売却益で雨風に耐えられる屋根を造り対応すべきと考え。	どれだけのスペースと予算が必要か、財政課と相談し、速やかに対応したい。
5	住民票等のコンビニでの受け取りの可能性について	全国各地、県内では那覇市が導入している。市民サービス向上のため、本市においても導入すべきと考え。	今後マイナンバー制度の導入もあり、国の動向を見ながらコンビニ交付の導入に向けて検討していきたい。
6	戦後70年、市内戦跡の保存について	文化財指定されている白水戦跡群を平和学習等に活用するためにも最低限の標識や案内看板が必要だと考える。	白水戦跡群は国立公園内にあるため、目立つ看板の設置は不向きであるが、簡易な案内板や管理方法について考えていきたい。
7	新川海岸保全施設の更なる有効活用について	ウォーキング等の利用者や周辺ホテルの観光客が快適で、安全・安心な遊歩道として楽しめるように更なる活用を図るべきと考え。	同施設は、海岸の保全機能を高めるのが第一の目的であると同時に、快適に自然と触れ合う空間でもあるため定期的な施設点検により快適で安全な施設整備をしていきたい。
8	介護サポーターポイント制度の導入について	高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるよう新たな介護予防施策として介護サポーターポイント制度導入を検討すべきと考え。	高齢者の介護予防や社会参加が期待できる同制度は、県内では那覇市と南城市が取り入れている。本市でも地域が主体となって行政と共同で本市に、合った制度を調査・研究したい。
9	小中学校へのエアコン設置計画について	財源の問題を理由に計画を先延ばしにするのではなく、竹富町のように一括交付金を活用して3カ年計画で本市の学習環境を整備すべきと考え。	学校の規模に応じて、公共投資交付金と一括交付金の採択基準を勘案しながら実施していきたい。
10	地域おこし協力隊の活用について	地域おこし協力隊制度は地方創生と一体となって、早急に取り組むべきと考え。	国の政策をうまく活用することが島の発展につながる。今後、国から派遣されてくる職員とともに政策を立ち上げていきたい。
11	ひとり親家庭への支援事業について	国民健康保険税、部活動の派遣費等ひとり親家庭の経済的負担は厳しいものがある。教育の格差をなくすためにも、無料塾として学習支援をすべきと考え。	教育格差是正の必要性は感じている。母子寡婦福祉会と連携しながらひとり親家庭への学習支援に向けて積極的に取り組みを進めたい。
12	マイナンバー制度について	マイナンバー制度実施に向け市民への周知と理解を深める必要があると考え。	5月の広報紙から同制度について毎月掲載している。今後は新聞、ラジオでも情報を発信し周知を図りたい。
13	避難ビルの有効性について	八島小学校周辺は避難ビルが少ない地域である。都市計画用途地域の建ぺい率、容積率の緩和をすべきと考え。	用途地域の建ぺい率、容積率の緩和をしなくても防災ビル等の施設であれば公共的な観点から建築審査会の許可、同意を得て建築することは可能であるため、対応を検討したい。